

## 国分自治会

### 国分自治会 20 周年を迎えて

平成 28 年に創立 20 周年を迎えた国分自治会。国分集会所にて記念式典が行われ、地域の表彰者をはじめ多くの地域住民が参加し、お酒を酌み交わしながらこれまでの思い出を語り合った。

今回の取材に参加した前会長の井上義博氏、現会長の湯澤豊氏、会計の藤岡明氏ともに 20 年以上自治会の役員を務めている。長年自治会活動に関わっているからこそ地域の特色や変化に気付き、その時代に合った事業を考案してきた。

恒例行事である年 2 回の球技大会はバレーやソフトボール、卓球等の中から、参加する年齢層のニーズに合った競技を実施。近年は高齢者の参加も多いことからグランドゴルフが人気。この球技大会をはじめ、温泉旅行や芋煮会といった世代間交流に力を入れている。反応が良ければ恒例行事として続けていき、参加者が少なければまた新たな企画を考案。地域住民が楽しく交流できる場の創出を目指している。



国分長寿を祝う会

### 市内自治会初の自主防災組織

井上氏が会長を務めていた当時、「ここ 30 年の間に大きな地震が来る」と予想されていた。なにか備えをしておかなければと考え、平成 17 年に市内（当時滝沢村）の自治会で初めて自主防災会を発足。以降、地域の安心安全のため、防災活動に取り組んできた。

平成 23 年に発生した東日本大震災では自主防

災会役員が中心となって炊き出し支援等の活躍をした。実際に大災害を経験したことにより、一層防災意識が高まり、訓練に参加する住民も増えた。毎年の訓練内容も地震や台風、木賊川の水害など様々な災害を想定した訓練を実施。平成 26 年には国分集会所に防災備品倉庫を整備し、災害への備えをより強固なものにした。



自主防災訓練

### 緊急時連絡先ボード

数十年前、自治会内で独居の方が倒れ救急搬送された際、当人の身内の連絡先が分からず困ったということがあった。その経験から生まれたのが自治会内独自の「緊急時連絡先メモ」。このボードの表面には緊急時パニックになった状態でもすぐに連絡ができるよう消防や警察の電話番号、自分の名前や住所を記載している。裏面には自分が倒れて意思表示が困難な時に連絡してほしい別居家族等の番号を記載している。この取り組みで実際に助かった方もいる。

居住形態の変化やプライバシーの問題で自治会内すべての方の情報を把握することは難しい。最初の取り組みから年数が経っているので、改めて最新版の作成に取り組むことも検討している。



左から藤岡明氏(会計)、井上義博氏(前会長)、湯澤豊氏(自治会長)、取材時撮影